

バイオマス取組事例概要

《社団法人日本有機資源協会会長賞》

- ・応募主体 滋賀県環境生活協同組合
- ・都道府県・市町村 滋賀県蒲生郡安土町
- ・取組分野 菜の花プロジェクト

取組概要

全国に活動が広がっている「菜の花プロジェクト」の創案と実践。

1977年、琵琶湖での大規模赤潮の発生により、赤潮の発生原因である「富栄養化」への対策として、「合成洗剤に代えてせっけんを使おう」という運動を出発として、廃食油の回収・せっけんへのリサイクルや、牛乳パックの回収・リサイクルをはじめ、琵琶湖の水環境保全と調和したエコライフの推進に取り組んできた。

これらの活動は、「琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」(1980.7月施行)の制定に寄与するなど、行政をはじめ多くの住民の共感を受ける中で、持続的に環境問題に取り組む民間組織の必要性を意識し、1990年に我が国初の環境専門の生協「滋賀県環境生活協同組合」を設立した。

その後、廃食油リサイクルの取り組みは、環境先進国であるドイツの取り組みに触発され、軽油代替燃料としてのバイオディーゼル燃料化と、バイオディーゼル燃料の量的確保のために、転作田を活用した菜の花栽培を進める「菜の花プロジェクト」に発展。全国にその活動を広めるため、菜の花プロジェクトネットワークを組織。各地で菜の花サミット等を開催し、すでに100以上の団体の取り組みになっている。

